



2022年の みらい科

4月～12月のようす

中 | 「自己を知ろう・他者を知ろう」



みらい科でどんな力がつくの？その答えは「知のネットワークを広げていくことで、自ら学校生活や人生を楽しくしていく力」です。

その初年度としてまず1学期は、相手を尊重しながら自分の意見を上手に伝える姿勢や態度を学び、2学期からは、与えられたテーマに興味を持ち、自ら問いを立て、調べたり課題を見つける姿勢を身に付けるためにブックトークに挑戦しています。3学期には実際に皆の前でブックトークの実演、発表会が予定されています。

2枚の写真は千代田区図書館司書をお招きしブックトークの実践とアドバイスをいただいている場面です。



中2「自己を伝えよう・他者を受け入れよう」



4月当初アリーナにて。それぞれのクラスを色分けし人数集めをしました。集まったグループで自己紹介を行い新しい仲間作りをしました。5月の遠足では、浅草・スカイツリー方面と原宿・明治神宮方面に分かれて日本の文化について取材しました。

その後作成したスライドを12月の英語ワークショップで英語のプレゼンをする予定です。

10月から平和学習を始めました。

グループごとに学校を出発して「昭和館」を見学し各自が決めた事柄を取材しました。その後、各クラスでグループになり、作成したレポートを発表し、皆で評価しあいました。

12月からは、私たちの未来の平和を考える学習をしています。



中3 「自分を見つめて、学ぶ意義を考えよう」



↑ プラン・インターナショナルの講演
← 神田一ツ橋中学校通信制に通う方々のお話
↓ ポスターセッション用のポスター作成



中3では、4月から9月までの「平和学習」に引き続き、「なぜ、今学ぶのか」をテーマに探究学習を行っています。

学習の流れとしては、以下の通りです。

- ①職業インタビュー(学校近隣の20社ほどの職場を訪ねました)
- ②講演「大学の学び」(立命館大学職員の方から、大学や社会で必要とされる学びについてのお話を聴きました)
- ③講演「通信制学級に通う方々の学び」(神田一ツ橋中学校に通われているご高齢の方々から、なぜ今学ぶのかというお話を聞きました)
- ④講演「教育を受けられない人たちの実情を聞く」(プラン・インターナショナルの方から、諸外国の差別を受けている子供達の教育の実情の話を知りました)
- ⑤ポスターセッション形式の発表

現在は、これらのまとめとポスター制作を行っています。自分を高めるため、気持ちを豊かにするため、健康のため、収入を得るため、生きていくため、人のため、社会のため…。生徒達はさまざまな気づきがあったようです。

その気づきを、現在のそしてこれからの学びに活かしてもらいたいと思います。

高1 「自分の可能性にチャレンジしよう」



・ 新入生75名を迎え、一貫生との交流から始まりました。

1学期は自分の興味、関心のある事柄を確認し、自分の特性を知りました。その特性を生かせるように様々な職業を調べました。大学の先生方のお力も借りて、必要な資格や知識について学びました。生徒たちは10年後のなりたい自分を思い描き、熱心に話に聞き入っていました。

2学期は修学旅行に向けて各自が興味のあるテーマを選び、班毎に事前学習を行っています。プレゼンを17日に実施する予定です。





高2 「自分の力を信じて大きく飛躍しよう」

高2上半期は、修学旅行を前提とした「多様性理解」「平和学習」「日本文化理解」について探究しました。実際に修学旅行にも行くことができ、座学で学んだことと実際がつながり、意識を高めることができました。下半期は「企業コラボ」で、「昭文社班」と「ニッポン班」に分かれ、被災時を想定した「防災マップ」「被災時の食事」を考案中です。



みらい科活動の集大成である「みらい論文」では、学年の85%の生徒が期日までに書きあげました。現在、1月の優秀者発表会に向けて、各指導教官が選抜した代表者の中から、さらに代表者を絞る第2次選抜へとコマを進めているところです。産みの苦しみを感じつつも、中には2万字弱書き進めた生徒もあり、自分の関心事を深めていく楽しさを経験することができました。